

ボツワナ共和国月報(2022年8月)

主な出来事

【COVID-19】

- 感染者数(低い感染率に留まる)
- 政府による屋外におけるマスク着用義務の解除等

【内政】

- 第39回与党ボツワナ民主党(BDP)青年局党大会
- 与党ボツワナ民主党(BDP)の党大会

【外政】

- マシシ大統領、ゼレンスキー・ウクライナ大統領と電話会談を実施

【SADC】

- 第42回SADC首脳会合の開催

【経済】

- 7月の年間消費者物価指数上昇率は14.3%
- ボツワナ銀行による政策金利の引上げ
- 携帯電話契約数は2.0%増、インターネット契約数は微減
- 貿易統計

【COVID-19】

○感染者数

5月に入り、感染者数が毎週倍増し、6月9日に保健省は、ボツワナは感染の第5波に入った旨を発表したが6月末頃から減少傾向となり、7月28日に保健省は第5波が収束した旨を発表。8月に入ってからは、新規感染者数が数名に留まり、死亡者も週毎の発表で「ゼロ」の週もあったなど、全体として低い感染率が横ばいで続いた。

○屋外におけるマスク着用義務の解除等

ボツワナ政府は2日、屋外におけるマスク着用義務を解除する旨の政府報道発表を发出。また同日付官報にて、客年10月1日から適用されてきたCOVID-19感染拡大予防策の規則及び本年3月18日以降適用されてきた、入国時における検疫措置に関して、一部規則を緩める旨を発表した。

【内政】

○第39回与党ボツワナ民主党(BDP)青年局党大会の開催

5～7日、第39回BDP青年局党大会が開催され、コレン・モチョトルヒ(トロクウェン選挙区)が代表に選出された。

○与党ボツワナ民主党(BDP)の党大会開催

26～28日、与党ボツワナ民主党(BDP)の党大会が開催され、現職のツォフワネ副大統領及びその一派が党内の要職を占める結果となった。ツォフワネ副大統領は、党内の委員長職を806票で獲得し、対抗馬のモレフィ元大臣(218票)を破って当選。幹事長職には、同副大統領派のカヴィス・カリオ、副幹事長職には、クワペ外務大臣が着任した。

【外政】

○マシシ大統領とゼレンスキー・ウクライナ大統領と電話会談

8日、マシシ大統領は、ゼレンスキー・ウクライナ大統領と電話会談を実施した。マシシ大統領からはボツワナがウクライナの人々と共にあることを再確認し、平和的解決に向けた努力を促した。両首脳はまた、特にアフリカ大陸における食料安全保障の担保のため、ウクライナからの継続的な穀物輸出の必要性という困難な課題につき話をした。

【SADC】

○第42回SADC首脳会合の開催

18日、第42回SADC首脳会合がコンゴ(民)にて開催された。同会合では、SADC首脳会合議長にチセケディ・コンゴ(民)大統領が、SADC政治・防衛・安全保障機構(オーガン)新議長にガインコブ・ナミビア大統領が選出された。また、カーボ・デルガード州の現状に鑑み、SADCモザンビーク・ミッション(SAMIM)の延長が承認された。

【経済】

○7月の年間消費者物価指数上昇率は14.3%

ボツワナにおける7月の年間消費者物価上昇率は、前月の12.7%から1.6%増の14.3%となり、2008年12月(13.7%)以来の高水準となった。また前年同月比較で8.9%高い水準となっている。前月に引き続き、運輸部門の値上がりが顕著であるが、これは7月28日に国内燃料価格が値上がりしたことも影響している。

○ボツワナ銀行による政策金利の引上げ

25日、ボツワナ銀行は、金融政策委員会(MPC)を開催し、高いインフレ期待の定着を緩和するため金融政策金利を2.15%から2.65%へ引き上げることを決定。MPCは、国内インフレ抑制対策に、技術革新及び生産能力の向上を通じた国内企業の国際市場における競争力の向上等を掲げた。MPCは、ボツワナのGDP成長率を、2021年の11.4%から、2022年には4.2%、2023年には4.1%と緩やかになると予想している。

○携帯電話契約数は2.0%増、インターネット契約数は微減

2021年第4四半期の携帯電話契約数は、4,160,553契約から4,243,124契約となり2.0%増加、インターネット契約は、2021年第4四半期の2,557,538契約から0.4%減の

2,547,335契約となった。なお、固定電話の契約数は、132,457件から90,518件と31.7%と大幅に減少した。

○貿易統計

2022年6月の輸入総額は84.2億プラ(前月から1.6%減)、同月の輸出総額は103.6億万プラ(前月から14.7%増)。輸入品目別では、食品・飲料・タバコ26.7%、燃料20.4%、機械・電気機器12.2%及びダイヤモンド10.9%、輸出品目別では、ダイヤモンド89.4%、銅2.4%、機械・電気機器及び2.1%となった。地域別には、SACUからの輸入が64.1%を占めるが、輸出はアジアが67%を占めている。